「働くこと」に関する一考察

ヤマト運輸で学んだこと

１０月３日

私が思う「働くこと」のうれしさ

- 給料がもらえる
- 感謝される
- 自分が稼いだお金で好きなことができる
- 自分の力を発揮できる

栗原さんの話で分かったこと

- 仕事は、誰かに感謝されてうまくいく
- 挑戦することが大事
- おじさんの向いてる方向が一緒

感想

最初は仕事は大変だと思ってたけれど、感謝されてそれをやりがいに楽しんで働きたいなと思いました。やる前から「無理」と決めつけずに「挑戦」していきたいです！

「働くこと」に関する一考察

～ヤマト運輸栗原所長の教え～

2024.10.3 職業ゼミ所属

栗原さんの話を聞いて

たくさんのおじさんが登場しながらも栗原さんのこれまでの事を知ることが出来たので、聞いても飽きない話でした。割と輸送するまでの過程が長く、それでも短い方なんだなと感じることが出来ました。輸送するだけではなく、ありがとうと言っていただける仕事をしたいと聞いて運輸業って奥が深いんだなと思いました。人の後をついてくる機械の秘密を知る事が出来てこういう風に動いているだなと知ることが出来ました。自分の中ではこの地域実習で割と質問出来たと思います。

自分にとって働くとは

自分の未来像の迷宮の様な感じです。自分が将来楽になるための試練と言っても良いでしょう　将来自立する為に頑張りたい事などを考えています。

最後に

業種は豊富で色々あり迷いますが、やりがいを感じると思う仕事を選び、これからの未来を探し回っていきましょう!

「働くこと」に関する一考察

～栗原さんから学ぶありがとうについて～

先日ヤマト運輸札幌ベースへ伺って栗原さんのお話を聞きました。
栗原さんが何度もおっしゃっていた「ありがとうと言ってもらえる仕事をする」
この言葉が自分の心にとても響きました。一見当たり前のことだと思いますが、栗原さんにとっての「ありがとう」は自分たちが思うよりもう少し深い意味なのではないかと感じました。その「ありがとう」というところに焦点を置いて考えます。

自分にとってのありがとうとは？

・感謝

・敬意

・コミュニケーション

栗原さんにとってのありがとう(予想)

・感謝

・敬意

・コミュニケーション

・**仕事のやりがい**

自分と栗原さんが思うありがとうは少し違うけど共通している点は

感謝だと思います。

「働くこと」に関する一考察

～栗原さんはなぜありがとうと言われたいのか～

自分の働くイメージは
自分の成長して行くとともに大変なのではと
思ったからです。ですがヤマトで栗原さんのお話で
「ありがとう」を大事にしてほしいと言っていて
僕はなぜ栗原さんは大事にしているか考えました。
僕はこれは目標ではないのかと思いました。
理由は栗原さんはたくさんの人にありがとうを言われたい、
そのために管理職になったと言っていて
そこまでありがとうを言われたいのは目標や使命だと
言っていたからです。
なので僕は目標を明確にして一日を大事にしたいと思いました。
自分の目標を具体的にいうと苦手なことを一週間の
目標にして一日ずつステップすればなりたい自分になれる
からです。
なりたい自分とはなにか？
それは誰からでも慕われるような人です。
それはなぜか？
人間性がいいと仕事を任せられたりわからない事があれば
会社の先輩に教えてもらえたりいろいろな知識が身につくから
です。
もしなることができれば
自分の成長や仕事、人間関係が楽しみになり今よりも
働くが楽しくなると思ったからです。

私が思う「働くこと」のうれしさ

- 給料がもらえる
- 感謝される
- 自分が稼いだお金で好きなことができる
- 自分の力を発揮できる

生成AIの歴史

何年ぐらいに本格化したのか
AIはどのように進化していくのか
AIの技術が進歩している中で、これからの社会にどの影響をもたらすのか

1 いつAIが誕生したのか

時は1950年、イギリスの学者アラン・チューリングがAIの起源となる概念を作りました。そこでアメリカの計算機科学者で認知科学者でもあるジョン・マッカーシーが、思考する機械を「人工知能」と命名しています。

2 AIはどのように進化していくのか

AIの技術革新を大きく進めたのは、コンピューターの計算能力が向上し、ビッグデータの活用が可能になったことによる機械学習の実用化と深層学習が登場したからです。AIの進化に対する重要な推進力の一つとして、GPU（グラフィックス・プロセッシング・ユニット）の発展が挙げられています。

3 AIの技術が進歩していく中で、これからの社会にどの影響をもたらすのか

人間が医師になるためには長い時間と労力が掛かりますし、その後も最新の知識を取得し続けなければ、医療の進化に対応することができません。しかし、AIであれば増えていく膨大な情報を分析し、知識をアップデートすることは容易です。これまでは人間が下してきた診断などの部分を、AIが肩代わりすることも可能になるのです。

以上で発表を終わります。

SDGsの大切さ

Q、この目標の中で、
一番困っていることは何か？

SDGsとは？

SDGs＝持続可能な開発目標のことを表しており、世界各国の代表者たちが決め、様々な目標や環境問題・人々の幸せを送れるような地球にしていくために今私たちがともに協力しながら目標を達成することを言います。

A,今困っていることは「1」の「貧困をなくそう」のことで、今値上がりが続く一方であり、貧しい生活を送っている人が多くなってきているからです。
では、食料が増えるためのSDGsを見ていきましょう。

こちらは、「２」の飢餓をゼロに
今では食料の減少が続いています。では、その問題を解決するには？

それは、・飢餓の終止符を打つこと、
・食料を確保すること
・栄養状態の改善
この3つがとても重要だとわかりました。

しかし、上手くいくかはそうはならず、 2015年からこのSDGsを実行してからはや 9年　死者の日は４～5万人、過去10年で1億人を超えるなど今世界で餓死する人々がたくさんいます　…。

Q、ではこの飢餓はなくならない理由は
一体なんだろうか。

それは、

紛争です。

・紛争とは、
「もつれて戦うこと」
国家間規模の大きな戦争から個人間の戦争まで含むこと。

内戦や暴動により、食料安全保障の栄養は、記録手にまでに落ちている ことがわかりました。このまま行くと、地球の食料がいずれなくなるだろう …

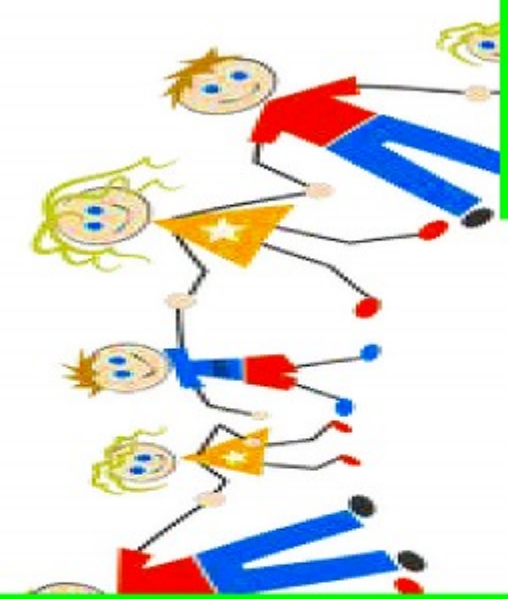
宗教の名のもとに引き起こされる対立や民族の文化に不寛容から生まれる対立によって起こります。

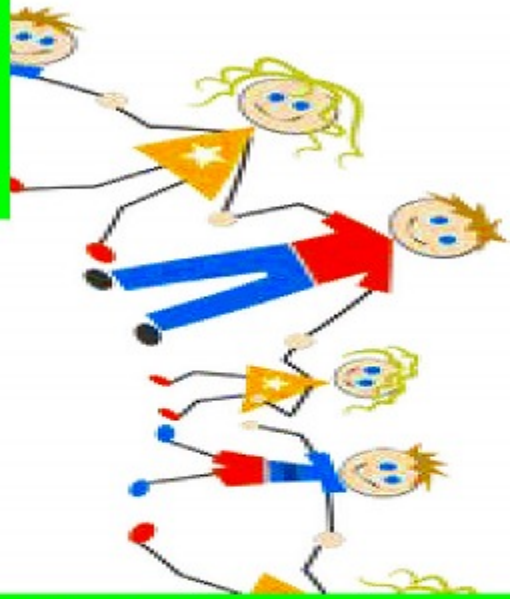
でも、まだ助かる方法はあります。
飢餓をなくしていきたいポイントを紹介していきます。

1. 貧しい人を優先し、社会保障制度を充実していく。
2. 農家と市場がスムーズに繋がる流通網を設置する。
3. 持続可能で多様な作物を栽培できるように支援する。
4. 食料廃棄、ロスを減らす。

食べ物を残すと、捨てられた食べ物はゴミと化し自然に捨てられますので、日頃から食べれることを感謝し、大切に食料を扱っていくことも大切です。
自分も食料がなくなったら生きていけなくなるので、世界ともに協力し、飢餓だけではなく、様々な SDGsの問題を解決していこうと感じました。

このように、世界のSDGsの取り組みは、かなり厳しいものですが、みんなの力でより良い地球にしていくのが大切だとわかりました。





SDGsの取り組みは、自分のため、そしてみんなのための行動になります。

今後の地球とのつながりを
良くしていきませんか。

～進路一人旅で
調べてたもののまとめ～

4組

放課後等児童デイサービス　キリアン

～調べたこと～

産業分類　　放課後等デイサービスの仕事では体力

P-85-853　　だけではなく責任感や人を支えたいという

気持ちが必要。

向いている人、、、

成長することに喜びを感じられる人、体力に

自信がある人

などなど、、

～聞いたこと～

やりがい　子ども達の成長、変化を感じられること

管理者としてはスムーズに仕事をできること、コミュニケーションをとれるようになること。

必要な力　観察力＝やりがいにつながる

コミュニケーション力相手によって使い分ける

大変なこと　状況を見て伝えたりすること、責任感がある、思うようにいかないこと＝みんなでやっているため伝え方を考えたりすること

この仕事をしていて良かったと思うこと　感情のコントロール、成長がみられること

子どもなどとのやりとりが楽しくできること

～調べてみての感想～

最初にキリアンの事について調べてみてこんな思いで働いているんだなとしりました。聞きたいことを聞いてみて伝えることなどが大変だったりするんだなと知れて良かったです。

産業分類ってなに必要？

産業分類とはなにか

産業別に分けてすべての経済活動を分類したもの

いつできたのか

昭和5年（1930年）第3回国勢調査のときにできた

産業分類は何個あるのか

大部類が20、中分類が99、小分類が529、細分類が1455個
あります。

必要なのか

産業分類は必要ですなぜなら税金、社会保険、各種補助金などの
公的な手続きで業種の記入があるからです。

昭和5年と比べてどうなのか

第三次産業がかなり増加し特に増えているのがサービス業です。

誰が産業分類を作ったのか

産業分類専門部会によってアメリカの標準産業分類、
国連の国際標準分類を研究、検討等を得てできた。

産業分類はどこで調べられるか

総務省で産業分類と調べると乗っている。
これを使うと簡単に調べることができる。

まとめ

僕は産業分類はあまり必要ないと思っていたが
公的な手続きで必要だということがわかり大事なんだなと思った。
あと産業分類はこんなに数が多いということがわかりました。

社食の歴史

ヤマト運輸の社食を食べて

ヤマト運輸さんのところの社食を食べてとても美味しかったです。社食を食べている時に周りを見てみると、社員さんがとてもリラックスしながら過ごしていて、なぜだろうと思ってしらべることにしました。調べてみたら思っていたよりより奥深くてとても面白かったです、是非見て聞いて下さい。

社食は富岡製糸場が最初

江戸時代　労働者への賄い文化

鉱山の労働者や奉公人に食事提供

1872年　富岡製糸場操業開始

女子工員のための工場給食を提供

1914年　魚国総本社が創業

仕出し弁当を商店などに配達

27年　魚国総本社が出張賄い業を開始

大阪の丸紅商店で社員食堂を手掛ける

そして今に

⬇️

現代でも社食は進化を遂げている

社食は単に食事をするだけの場所じゃなくなっているらしいです、ただご飯を食べる場所ではなく社員同士がアイディアを共有したりコミュニケーションを取ったり、リラックスできる空間になっている、ことで社員全体の生産性の向上にも繋がるそうです。

就活活動の際に福利厚生の一環社食に注目する学生向けに、充実度のアピールをすることができるそうです。

生成AIのメリット・デメリット

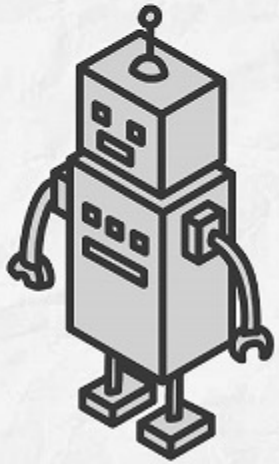
4組職業ゼミ

生成AIを使うとこんなメリットがある！！

・時短、仕事の効率化

・人員不足解消

・誰でも気軽に「創る」というものに触れることができる。

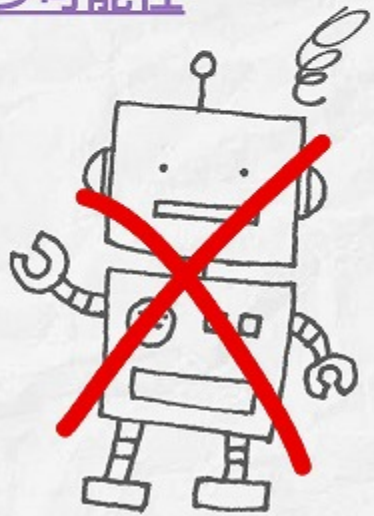


生成AIのデメリットは？？

・AIが学習した元データの著作権が心配

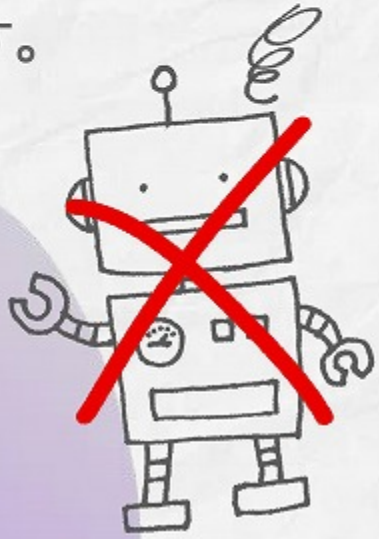
・AIに仕事を奪われる可能性がある

・生成したものがデマなどに使われて社会が混乱してしまう可能性



デマ・フェイクの実例

生成AIで作ったデマの画像が拡散されてSNSを通して混乱させました。
年々生成AIの精度も高まってきて、本物か見分けがつかないぐらいになってきてます。



ですが

ハッピー

生成AIは使い方さえしっかりしていれば便利で社会全体が豊かになり、皆が幸せになれるはず！！

接遇について

接遇とは・・・？

相手を理解し、適切に迎える対応のこと

「遇」という字には出会うやめぐり合わせ、もてなすという意味があります。

接遇の大切さ

・お客様一人ひとりに寄り添うこと

・目の前にいる人のために、自分が何ができるのか考える

・そのひとのために声掛けや行動すること

接遇の歴史

「接遇」という言葉は、飛鳥時代からあったが大きく発展、進化したのは江戸時代らしい

～理由～

江戸時代には、日本に都市が増え、人が集まり、商業が盛んになったから

調べた感想、分かったこと

接遇について調べてみて、意外と奥が深いなと思いました。
私は接客業に興味があるので言葉づかいに気をつけたり、あいさつを大切にしていきたいです。